

令和 7 年度 学校評価書 (実施段階)

福岡県立

修猷館

高等学校

47

<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>世のため人のために力を尽くし、未来を創り出す、真のグローバルリーダーを育成する学校 全人教育を中心に据えた高度で先進的な教育活動を通じて、次代の福岡県、日本、国際社会をけん引する人材を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>【修猷を誇るな、修猷が誇る人となれ】【自浄作用】 ・後世に文化を継承していく使命と責任の自覚 ・知性と感性が調和した人間力豊かな実践的行動力 ・世界の現実を直視した高い志と国際的素養 ・内面的自覚を促し、礼節と倫理観、正義感をもった主体性 ・10年後、20年後の自己実現</p>
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>【知性の刺激、失敗を恐れない学び】【語りの文化】【根拠なき自信】 ・高い学力を豊かな知性に高める上質な授業 ・「文系・理系」「英数クラス」「医進クラス」設置 ・「Sure You Can講座」「課題研究」の実施 ・外部人材活用:卒業生キャリアセミナー、出前授業、生徒海外派遣、東京研修等 ・「失敗から学ぶ」:生徒主体の運営による学校行事及び生徒会における自治的活動</p>
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>【高い目的意識と学習意欲】【挑戦】 ・本校の館風と文化に対し興味を抱く人 ・人格の完成を目指し、自らを鍛え文武両道を極めようとする逞しい人 ・人と人とのかわり方で学ぶことを楽しめる人 ・自ら考え判断し、主体的に行動し、自己の行動に責任を持つ誠実な人 ・自他を尊重し、人の痛みのわかる感受性豊かな人</p>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>【基本方針】 本校教育の根幹を成す「世のため、人のため」の精神のもと、本校独自の館風「質朴剛健、不羈独立、自由闊達」を持つ修猷文化で温かく育み、社会の変化や生徒の実態に機動的に対応する体制を確立し、一人一人の生徒が未来社会を切り開くために求められる資質・能力の育成を推進する。 【長期目標】 1 「全人教育」を中心に据えた教育活動の実践 2 次代の国際社会や日本を担う人材、グローバル・リーダーの育成 3 教育における先進性と地域における教育の役割を見据えた改革の推進</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>新しい学びの実現に向けて、生徒一人一人の現状に合わせた内容を吟味し、ICTと従来の指導方法を最適に組み合わせることで、効果的な授業を目指す。また、伝統を守りつつ、生徒の声に耳を傾け、自主性・主体性を重視した教育活動を行い、「自浄作用」の伸長を図る。さらに、外部講師や卒業生を招いたキャリアセミナーを通じて、生徒がさらに高みを目指すキャリア教育を実践する。そして、デジタル時代においても、読書がもたらす人間形成力を活かし、マナーやモラルを指導することで、自他の命を大切に育てる生徒を育成する。これまでの成果を踏まえ、以上のような教育活動を通じて、総合的な成長を促し、未来に向けた力を身につけさせる。</p>	<p>組織機能の活性化</p>	<p>組織マネジメントの充実に向け、校務分掌・学年の業務を精選し、多様な人材活用によりミドルリーダーを育成する。併せて多様化・複雑化する課題に対し学年・分掌を横断して解決を図るとともに、国や県が推進する様々なIT活用にも適切に対応し、業務の効率化を図る。 新学習指導要領に対応して変更した教育課程、学習評価法、時制等の検証・改善を行うとともに前期の区切り「大運動会」・学年の総仕上げとなる後期の「大文化祭」の二大学校行事を軸に、学校暦の更なる充実を図る。</p>	
<p>たくましい骨太の生徒育成(「修猷を誇るな、修猷が誇る人となれ」)</p>	<p>創立250周年に向け、修猷アイデンティティー(自治的・主体的行動、文武両道、豊かな知性、知の統合、豊かな人間性の涵養)と実践的行動力(逞しさ、創造性、協働性、リーダーシップ・フォロワーシップ、自浄作用)を更に意識させ、それを育成する多様な場や仕掛けを設定する。</p>	<p>「知性の刺激、失敗を恐れない学び、語りの文化」等、人と人との関わりの中で学ぶ修猷文化を活用し、生徒の未来を切り開く多様な資質・能力を伸ばすために、挑戦、自他の個性の理解、命の大切さ、自尊感情・人権感覚、誇りと自信を重んじる生徒の育成を図る。</p>	<p>A</p>
<p>教師としての使命を果たす</p>	<p>本校が目指す生徒を育成するために、教師一人一人が各自のこだわり・個性を最大限発揮し、生徒に「根拠ある自信」とともに「根拠なき自信」や挑戦への意欲を持たせる等、自らが修猷文化を醸成するとの自覚を持つ。 自ら進んで研究と修養に努め、教養・幅広い知識・専門性の向上を図る。特に深い学び、ICTを取り入れた新たな学びを駆使し、上質の授業を展開する。</p>	<p>本校が目指す生徒を育成するために、教師一人一人が各自のこだわり・個性を最大限発揮し、生徒に「根拠ある自信」とともに「根拠なき自信」や挑戦への意欲を持たせる等、自らが修猷文化を醸成するとの自覚を持つ。 自ら進んで研究と修養に努め、教養・幅広い知識・専門性の向上を図る。特に深い学び、ICTを取り入れた新たな学びを駆使し、上質の授業を展開する。</p>	

		自己評価				学校関係者評価		
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等	評価(3月)		結果の考察と次年度の課題	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
教務部 教務課	授業・評価法の工夫と学びを支える体制構築	基礎知識の習得と主体的な学習態度を養う教育活動を推進する。	学習の方法や授業後の質問など、先生がきちんと対応してくれる。	A	A	【考察】進路支援課、情報委員会、学年との連携が必須【課題】定期考査における点数チェック、クラス編成、システムの構築を図る	A	職員の業務分担の偏りを軽減する取組を継続してほしい。
		教師の授業力向上を支援し、生徒の学びの意欲を高める。		A				
	ICT活用や進路に応じた教育課程を検討し、学年間連携を強化する。		A					
	教育課程や学習評価を見直し、生徒に最適な改善策を提案する。	修館館にしかできない真の学びが充実している。	A					
学習指導要領に基づく教育課程等の運用と改善	観点別評価を分析し、教員の意識向上と課題共有を進める。			A	A	【考察】業務の「隠された意味合い」を見落とさずに今後を検討【課題】特別時間割、教務規程・内規の見直しの検討	A	
	授業時数や時間割の調整で負担軽減を図り、規程の見直しを行う。		B					
教務部 庶務課	儀式運営におけるPTA・同窓会との連携	儀式・行事の計画から運営まで全職員と協力し、効率的に行う。	学校行事による著しい成長を実感できる。	A	A	【考察】儀式(式典)は職員の協力的体制が構築され、円滑に実施【課題】PTA・とさわ会担当者の円滑な業務遂行体制を構築する	A	生徒が政治について考える機会(主権者教育)の推進も期待する。
		PTAと連携し、委員会や行事運営を円滑に進め、組織の見直しを行う。		A				
	同窓会と密に連携し、活動運営を円滑に進める。		A					
	生徒が主体的に備品管理に関わり、物を大切にす姿勢を養う。	施設や備品が適切に利活用されている。	A					
業務の効率化を図るための環境整備	庶務課と他分掌が連携し、全職員で学校設備を大切に扱う環境を作る。			A	A	【考察】課全体での業務遂行体制の推進【課題】教員が関わる範囲・保護者が行う範囲・生徒が主体的に実行する範囲の明確化	A	
	備品管理や会場準備を適宜行い、外部との関わりも丁寧に進める。		A					
生徒部 生徒支援課	主体的に考え行動できる実践的行動力の育成	共通認識のもと、日常生活を通じて倫理観や責任感を育む支援を行う。	生徒の自主・自立が尊重され、自浄作用が適切に機能している。	A	A	【考察】大きな事故等の発生なし【課題】マナーやモラルを含め、人としての在り方生き方等について引き続き生徒一人一人に考えさせ続ける	A	困り感を持つ生徒の早期発見・早期対応を、引き続きお願いしたい。
		地域社会との共存を意識し、行事や登下校で倫理観を養成する。		A				
	防災・安全教育を通じて、安全意識と危機管理能力を高める。		A					
	分掌や学年を超えて連携し、生徒の情報発信や問題提起を支援する。	困り感のある生徒を早期に発見、情報共有し、いち早くサポート体制を構築した。	A					
安心して過ごせる環境と社会的態度の育成	長期欠席に早期対応し、外部機関と連携して支援を行う。			A	A	【課題】安全・安心な環境の維持・改善を継続	A	
	いじめ防止へ定期調査を行い、未然防止と早期発見に努める。		A					
生徒部 活動支援課	自治的活動支援による修養アイデンティティと行動力の育成	行事の意義を共有し、生徒の主体的活動を支援する体制を整える。	他からの指示を待つのではなく、物事に自ら取り組む姿勢が身に付いた。	A	A	【考察】生徒の自治的・主体的な創意工夫によって大きな成果【課題】スーパーリーダーの育成のための指導事項の焦点化	A	生徒主体の場面が数多く設定されている。スーパーリーダーの育成を継続してほしい。
		生徒会活動を通して人間性や創造性、自尊感情などを育成する。		A				
	自治組織の運営を支援し、学校を牽引するリーダーを育成する。		A					
	自治活動を支援する体制を整え、リーダーシップと自浄力を育成する。	二大行事は自分の成長につながっていると強く感じる。	A					
二大行事支援と部活動を通じて、修養文化の発信と心身共に健康な生徒の育成	行事の質と安全性を高め、修養文化の継承と発展を図る。			A	A	【課題】伝統の継承のための取組について引き続きより良い形を模索	A	
	部活動や学校生活全般を組織的に指導し、自立性を育成する。		A					
進路部 進路支援課	生徒が高い志を持ち、次代の国際社会を担うために主体的に努力する力の育成	進路資料を発行し、説明会などで積極的に活用する。	社会に出るに当たって、志や夢を重視したい。	A	A	【考察】卒業生によるキャリアセミナーや東京研修、東大宇野ゼミを効果的に実施【課題】さらなる参加生徒の拡大や高大接続事業の紹介	A	高校時代は、人生において揺るがない基礎を築く時である。志や夢を育む取組を、さらに充実させてほしい。
		補習や課外を実施し、持続可能な形で改善を検討する。		A				
	推薦入試資料を整え、面接や小論文指導を行う。		A					
	進路指導室の活用を推奨し、支援体制を強化する。	学年別の進路説明会は早期に多くの進路情報を得ることができる。	A					
知的好奇心を育て、自ら学ぶ姿勢を促進し、進路・進学支援を通じた国際的素養の養成	模試や入試結果を分析し、次年度に向けた対応策を検討する。			A	A	【課題】必要な情報を適切な時期に発信【課題】新課程入試を踏まえ、補習・課外や模試のあり方の再検討が必要	A	
	進路情報を収集し、統計資料を作成して進路支援を充実させる。		A					
進路部 広報課	地域の小学生と保護者に本校の魅力伝える広報行事の企画運営	説明会とふれあい教室で本校の魅力を発信する。	小・中学生や保護者にとって本校を目指す大きなきっかけとなっている。	A	A	【考察】小学生保護者説明会、修養フェスト、中学校PTA受入れ等内容の充実を図って実施【課題】公立高校説明会の運営を計画的に実施	A	親として、勉強だけをしてほしいわけではない。すばらしい学友に恵まれる3年間を送ることができている。学校のすばらしさを、さらに広報してほしい。
		小学校や塾と情報交換し関係を深める。		A				
	修養フェスト等で魅力発信と意見交換を行う。		A					
	生徒部と連携し、広報活動を通じてリーダーシップを育成する。	修養フェスト等で本校生と触れ合い、本当の意味で本校を知ることができた。	A					
広報活動を通じて本校生徒の創造性、主体性、協働性、リーダーシップを育成	説明会やイベントで生徒に思いを伝える機会を提供する。			A	A	【課題】大きな事故やトラブル等なく概ね目標を達成【課題】学校案内編集作業、広報行事、PTAへの学校説明、HPなどのノウハウの共有	A	
	公式サイトに生徒作成のコンテンツを充実させる。		A					
教養部 研究支援課	教員研修及び教育実習の適切な運営と教育研究の充実	相互授業参観を年2回実施し、議論を深める機会を提供する。	職員研修や人権教育が計画的に適切に行われている。	A	A	【考察】各業務を円滑に遂行【課題】情報関連業務等の取組における組織的な対応の充実を図る	A	すばらしい人材育成教育を推進している。ぜひこのシステムを継続してほしい。
		研究授業を計画的に実施し、実践の改善を進める。		A				
	聴講制度を支援し、教員の成長を促進する。		A					
	学年や分掌と連携し、総合的な取組を充実させる。	課題研究や出前授業などに積極的に参加し、自己の成長の糧となった。	A					
「総合的な探究の時間」の運営支援	出前授業やキャリアセミナーで外部連携と生徒の参加を促進する。			A	A	【課題】新規外部講師募集の活性化や初動体制の刷新といった持続可能性を検討	A	
	課題研究で生徒の実践力や教育力を高める機会を提供する。		A					
教養部 図書課	朝読書を核とした活字文化推進の全校的取組	教職員と生徒で朝読書の理念を再確認し、読書環境を整備する。	読んでいるジャンルとしては文学や評論が55%と伸びてきている。	B	A	【考察】どの生徒にも、どの場所でも、という点で課題あり【課題】生成AI利用を視野に入れ、読書感想文を書く意義について丁寧な指導が必要	A	日記を書かせることは、在り方生き方を考える上で効果的。そうした要素もぜひ検討してほしい。
		読書会やビブリオバトルを実施し、図書や文学の交流を促進する。		A				
	教師の読書体験を共有し、生徒の読書意欲を喚起する。		A					
	図書委員に主体的業務を指導し、対面での話し合いを重視する。	蔵書の数が膨大。図書委員を中心とする様々な企画は今後も継続してほしい。	A					
生徒図書委員会の行動力向上と施設の適正管理と活用促進	蒔萩祭や壁新聞で表現活動を促進し、委員の企画力を育成する。			A	A	【課題】アンケートや図書購入希望調査の継続・充実	A	
	読書会や研修で図書委員の自己肯定感を高める。		A					

様式3

第1学年	「型」を学ぶことで、知・徳・体・美の成長を促進する活動の実践 自分と仲間を大切にすることの育成と、貢献できる人物となる土台づくり	日常の教育活動を重視し、生徒一人一人の成長を支援する。 生徒が特別活動や部活動に積極的に参加できる環境を整える。 社会のルールやマナーを意識させ、信頼関係を築くよう指導する。	他からの指示を待つのではなく、物事に自ら取り組むことを心掛けた。	A A B	A	A	【考察】諸活動において多くの生徒が主体的かつ真面目に取り組む姿【課題】「失敗・挫折・困り感」を自力で乗り越えられるよう支援	A	伝統行事については、時代の変化に応じてよりよい在り方を追求しつつ、根底にある目的を貫いてほしい。
		生徒同士が個性を認め合い、切磋琢磨する集団づくりを行う。 欠席生徒に迅速対応し、自分の居場所づくりを支援する。	学校行事や部活動など、自分の能力を発揮できる場が多く充実している。	A B A			【考察】現段階で実施すべき「仕掛け」について意見を交換しつつ実践【課題】「どげんかなる」をより強く意識した実践		
		授業や部活動を通じて気力を引き出し、積極的な参加を促す支援を行う。 大運動会や部活で体力を鍛え、感染症予防意識を高める。 課題研究や読書で知力を伸ばし、学びの機会を提供する。	学校行事、部活動などの場面でリーダーシップを発揮した。	A B A			【考察】見守る場面も働きかける場面も学年団で協調して対応【課題】学校のリーダーたることの自覚と勇気と元氣と責任感の育成		
第2学年	力を尽くし、個々の力を尊重しながら、成長を促進する環境づくり 努力を認め合い、互いに支え合う協力的な関係づくり	授業や部活動を通じて、生徒の魅力を引き出し、多様な経験を提供する。 大運動会や研修旅行で、国際的視野と平和意識を育む。 文化祭や修猷フェストで、生徒が魅力を発揮できる場を作る。	意見や立場の違いを理解し、状況に応じて対応する柔軟性と協働性を身に付けた。	A A A	A	A	【考察】不調や悩みを抱えている生徒と保護者に対して連携して継続的に支援【課題】人と人がつながりあう未来を生きるための社会性の育成	A	評価にとらわれすぎることなく、本校らしい教育を継続してほしい。 中高一貫校の躍進、浪人させたくないなどの思いを保護者として持ってはいるが、それよりもすばらしい学友に恵まれた。本校のすばらしい部分を今後も継続してほしい。
		真の学びを追求し、卒業後の新たなステージを自ら掴む。 自治を実現し、仲間と共に困難を乗り越え、創造の喜びを味わう。 部活動で自己研鑽し、仲間と共に高みを目指し貢献する。	他者と積極的に関わり、仲間を尊重しつつ、生徒発案の取組を積極的にに行った。	A A A			【考察】成果は卒業何十年後、そして後輩が学校を引っ張っていく姿に表れる【課題】自分や他人を認め、尊重する寛容さ、余裕・余白が必要		
		様々なプログラムに参加し、尊敬できる人々と交流して経験を活かす。 知性や専門性を追求し、他者に還元できる場を開拓する。 自他の個性を尊重し、正義感や倫理観を持って協力し合う。	失敗を恐れず、新しいことや困難なことに挑戦する精神を身に付けた。	A B A			【考察】多くを託される学年団の役割・責任の自覚【課題】生徒に求める姿を教員自ら実践、教育活動のあらゆる面で余裕を生み余白を活かすこと		
第3学年	先人・文化・仲間に学び、後輩に「たくましい」姿を示すこと 時代に求められるフロンティアを「たくましく」開拓すること	真の学びを追求し、卒業後の新たなステージを自ら掴む。 自治を実現し、仲間と共に困難を乗り越え、創造の喜びを味わう。 部活動で自己研鑽し、仲間と共に高みを目指し貢献する。	他者と積極的に関わり、仲間を尊重しつつ、生徒発案の取組を積極的にに行った。	A A A	A	A	【考察】成果は卒業何十年後、そして後輩が学校を引っ張っていく姿に表れる【課題】自分や他人を認め、尊重する寛容さ、余裕・余白が必要	A	評価にとらわれすぎることなく、本校らしい教育を継続してほしい。 中高一貫校の躍進、浪人させたくないなどの思いを保護者として持ってはいるが、それよりもすばらしい学友に恵まれた。本校のすばらしい部分を今後も継続してほしい。
		様々なプログラムに参加し、尊敬できる人々と交流して経験を活かす。 知性や専門性を追求し、他者に還元できる場を開拓する。 自他の個性を尊重し、正義感や倫理観を持って協力し合う。	失敗を恐れず、新しいことや困難なことに挑戦する精神を身に付けた。	A B A			【考察】多くを託される学年団の役割・責任の自覚【課題】生徒に求める姿を教員自ら実践、教育活動のあらゆる面で余裕を生み余白を活かすこと		

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒個々に向き合う時間をさらに捻出し、困り感を持つ生徒に対する早期発見・早期対応の促進を図る。</li> <li>・生徒主体の場面を多く設定し、スーパーリーダーの育成につなげていく本校の姿勢を評価していただいた。今後も、行事等とおして「世のため人のため」に尽力する人材を育成をする。</li> <li>・教員の業務環境の見直しや業務量の平準化は、一般社会とも共通する課題であり、さらなる業務改善の取組を促進する。</li> <li>・生徒、教員、地域の根底にある思いを大切にしながら伝統を残して欲しいとの意見をいただいた。時代の変化に応じてよりよい在り方を追求しつつ、伝統を大切にすることを生徒を育成する。</li> </ul>
--

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
A	A: 適切である
	B: 概ね適切である
	C: やや適切でない
	D: 不適切である
評価項目以外のものに関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生は高校生に憧れているので、地域の行事の際は、高校生の参加をお声かけしたい。</li> <li>・教師の思いを、地域で語ってもらいたい。</li> <li>・修猷館に残る西新遺跡等の地域学習もお願いしたい。</li> </ul>	